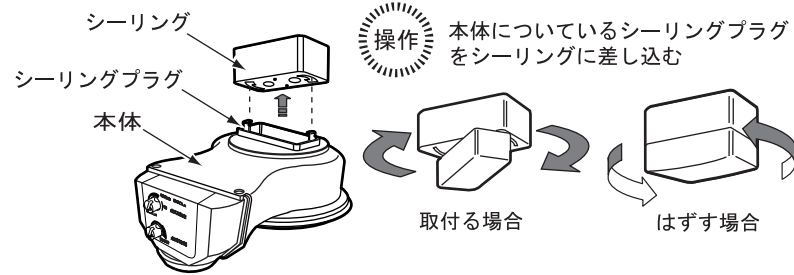


●器具の取付方法

1 センサーカバーをはずす。
配線器具に取付けた後、センサーの調整を行いカバーをつけてください。



2 配線器具に取付ける。

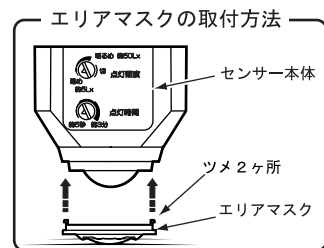


●検知範囲の初期設定方法

1 検知範囲を設定する。

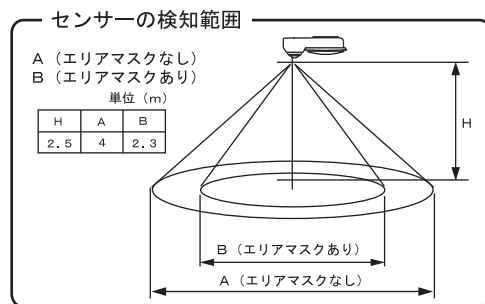
操作 点灯照度の調整つまみを「切」、点灯時間調整つまみを「5秒」に合わせる。

※昼間・夜間に関係なくセンサーの検知範囲に人が入ればランプが約5秒間100%で点灯し、その後、消灯します。



2 壁スイッチを「オン」にする。

※壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯（強制点灯）しますが、異常ではありません。強制点灯（約30秒）後、周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。



3 検知範囲を決める。

注意 検知エリアが広い場合は、センサー検知部に「エアマスク」を取り付けて検知エリアを調整してください。

●動作設定方法

操作 壁スイッチを「オン」にしてください。この時、約30秒間100%点灯します。（故障ではありません。）

●センサー機能モード

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。人がいなくなると設定された点灯時間（約5秒～約3分）経過後、消灯します。点灯保持時間が選べます。

1 点灯照度調整つまみをお好みの位置に合わせます。



「切」・・・明るさに関係なく点灯させたい。
（約1000ルクス以下）
「明るめ」・・・夕方やや明るい時から点灯させたい。
また明け方に消灯させたい。
（約50ルクス以下）
「暗め」・・・夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また明け方早くに消灯させたい。
（約5ルクス以下）

2 点灯時間調整つまみをお好みの位置に合わせます。

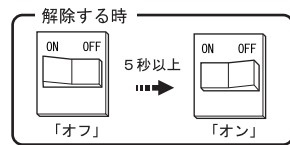
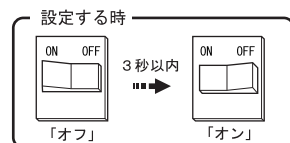


●強制ON（連続点灯）モード

連続して点灯させたい時は、壁スイッチをオンにして3秒以内にオンにすると、人の有無、昼間・夜間に関係なく、強制的にランプを約8時間100%点灯させることができます。その後、周囲の照度に応じて消灯または、センサーモードに戻ります。

1 壁スイッチを「オフ」にして、約3秒以内に「オン」に戻す。

2 センサーモードに戻す時は、壁スイッチを「オフ」にして、約5秒以上たってから「オン」に戻す。



●各カバーの取付方法

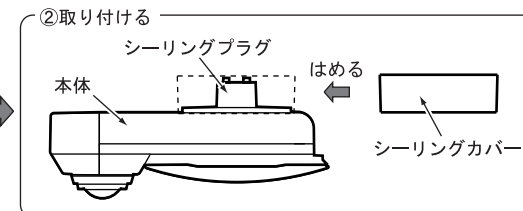
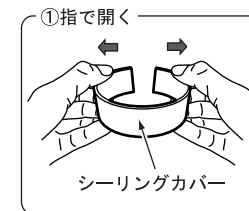
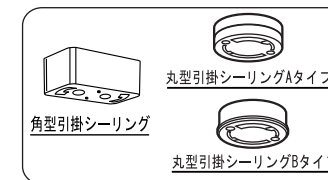
1 人感センサーカバーを取付ける。

操作 人感センサーカバーを本体に取り付ける。



2 シーリングカバーを取付ける。

注意 シーリングカバーは角型及び、丸型引掛シーリングの場合のみご使用できます。（使用しなくても問題はありません）



●お手入れのしかた

注意 明るく安全に使用していただくために、定期的な清掃と点検を行うことをおすすめします。

【セード・センサーのお手入れ】

- 直接、セード・センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。
- 乾いた布で拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- お手入れ後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。

●修理を依頼される前に

センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。もし正常に戻らない時は壁スイッチをオフにして5秒以上たってから、オンにしてください。処置をしても異常がある場合は、必ず電源をオフにしてお買い上げの販売店が当社窓口までご連絡ください。

現象	考えられる原因	処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない	強制（ON）モードになっている	強制モードを解除してください
	点灯照度調整つまみが「明るめ」側になっている。	朝、明るくなるまでセンサーが動作する設定になっていない。点灯照度調整つまみを「暗め」側に調整してください。
検知範囲に人がいるのに点灯しない	照明器具の取付場所が薄暗い。	薄暗い時にセンサーが動作する設定になっています。点灯照度調整つまみを「暗め」側に調整してください。
	昼間でも、曇りや雨で周囲が暗い。	
検知範囲に人がいるのに点灯しない	点灯照度調整つまみが「暗め」側になっている。	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。点灯照度調整つまみを「明るめ」側に調整してください。
	壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにする。
	センサー検知部に他の照明器具の光が当たっている。	センサー検知部に当たる光を遮断してください。
検知範囲に人がいないのに点灯する	センサー検知部が汚れている。	センサー検知部の汚れを柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
	電源をオンにした直後や停電した直後	電源をオンにした時は、約30秒間100%点灯します。検知範囲を調整するか、熱源を取り除いてください。
検知範囲に人がいるのに消灯する	検知範囲内に人以外の熱源があるとき。（車・近くの通行人・動物・他の照明器具・風で揺れる洗濯物や木・通風孔の風など・・・）	
	点灯時間調整つまみが「約5秒」側になっている。	「点灯時間調整つまみを「約3分」側に調整してください。
検知範囲が狭い	検知範囲内で人が静止している。	静止している人は検知できません。
	雨の日に傘で顔や手が隠れていたり、マフラーや手袋で肌の露出部分が少ない。 夏の暑い日などで、周囲温度と人の温度差が少ない。	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。